

キリスト教の愛の火と福祉活動

お告げのマリア修道会本部

終生誓願式

幼き子どもたちと共に生きる

心と体の癒しを願って

1874: 岩永マキなどの女性が、ド・ロ神父による赤痢救済の活動に協力する。

1877: 岩永マキなどの女性が、ド・ロ神父の指導により準修道会[浦上十字会]を創立する。

1956: 長崎教区の 26 の準修道会が、聖婢姉妹会として統合される。

1975: 当時の長崎大司教、里脇浅次郎枢機卿の指導のもと、聖婢姉妹会が、お告げのマリア修道会となる。この修道会は特に子どもへの宗教教育などを通じて、ド・ロ神父の福祉活動を受け継いでいる。